

上智大学中世思想研究所企画

「神」についての語り
—— 中世後期から近代まで ——

合理性の飽くなき追求がなされる中、ふと「神」に思いを馳せることは多々ありましょう。現代のこの状況は西洋近代の思潮の延長線上にあります。しかしその近代にあって、大学や教会といった権威・制度から離れた場で、「神」についての思考と語りは紡がれ続けました。本講義では、この時代の著名な哲学者の思想を辿りながら、彼らの神理解・世界理解に触れつつ、いかなる時代にあっても「神」について語る存在者であり続ける人間存在の本質に迫ります。哲学史についての知識は、受講の前提ではありません。中堅・若手講師陣による、輪講形式です。

コーディネーター：佐藤直子 上智大学文学部哲学科教授・同中世思想研究所所長
専門：中世思想、形而上学

講師：阿部善彦 立教大学文学部キリスト教学科准教授
坂本邦暢 東洋大学文学部哲学科助教
津崎良典 筑波大学人文社会系准教授
加藤喜之 東京基督教大学神学部准教授
梅田孝太 上智大学文学部哲学科非常勤講師

曜日・時間帯：月曜 18:45-20:15（全6回）

- 10/02 中世後期の知的状況—「神」を語ることへの躊躇い（佐藤）
10/16 ドイツ神秘思想における「神」についての語り（阿部）
10/23 ルネサンス思想における「神」についての語り
—宗教改革と文芸復興の狭間で—（坂本）
10/30 近代初期で神の potentia について語ること
—モンテーニュとデカルト—（津崎）
11/06 聖書あるいは自然—初期啓蒙とスピノザの神（加藤）
11/13 ニーチェと「神」の死（梅田）

* 講座のお申し込み方法については、公開学習センターのホームページをご覧ください。
受講料（税込）：16,200円 連絡先：上智大学公開学習センター 03-3238-3552

* 当チラシは、企画元・上智大学中世思想研究所が作成したものです。
上智大学中世思想研究所 03-3238-3822 / imdthght@sophia.ac.jp